

企業価値を高める“モノづくり”のための“品質革新”と“マネジメント向上”をめざす
品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダーによる相互啓発と共同研究会

メンバー
募集

第18期

品質革新 マネジメントフォーラム

開催にあたって

わが国企業ではグローバル競争が厳しい折り、日本の強みを生かした“モノづくり改革”にはさらなる独創性の創出が必須であり、その業務推進、戦略策定にあたっては、日本の品質管理の「伝統」を活かしながら「品質重視の経営スタイル」を目指す動きが求められております。

当会ではこれらの問題意識に立脚し、2000年度より、業種・業界を越えた品質保証部門の責任者・マネジャー・次世代リーダーの異業種研究交流会として本フォーラムを発足致しました。

各社で抱える問題点や課題について、胸襟を開いた相互啓発とメンバー交流を通じ、他では得難い共感と親睦を深め、新たなる活力を体得頂くことが本フォーラムのねらいです。

第18期を迎えるにあたり、問題意識の高い熱意のある方々のご参加をお待ちしております。

正式入会をご検討中の方は、第1回例会に限り体験参加頂けます(要事前予約)。

第1回例会 (基調講演・オリエンテーション・懇親会)

2017年10月26日(木) 13:00~18:00

会場: アイビーホール(東京・表参道)

【基調講演】

『味の素グループのグローバル品質保証体制 ～安全で高品質な商品・サービスの提供に向けた取り組み～』

味の素 株式会社 上席理事 品質保証部長 深見 賢治 氏

(ご略歴) 1982年4月 味の素㈱入社、以降、2007年7月 健康基盤研究所次長、2010年10月 食品研究所 技術開発センター長、2013年3月 品質保証部長を歴任され、2015年7月 理事 品質保証部長、2017年7月より現職。



グループディスカッション/オリエンテーション/メンバー相互の懇親会

第2回例会 (見学会と合宿研究会)

2017年12月8日(金)～9日(土)

会場: 静岡県沼津市方面での宿泊研修を予定

【見学会】 トヨタ自動車東日本(株) 東富士工場の見学と意見交流

(注) ご同業企業様は見学頂けない場合がございます。予めご了承下さい。

【合宿研究会】 テーマ別グループ討議の発足に向けての課題抽出・意見交流

第3回例会 (ゲスト講演とグループ別討議)

2018年1月18日(木) 13:00~17:00

会場: アイビーホール(東京・表参道)

【ゲスト講演】

『NECの考えるIoTとAIを活用した次世代ものづくり ～デジタルがものづくり価値創造を加速する～』

日本電気 株式会社 執行役員 松下 裕 氏

(ポイント) デジタル時代の価値創造を加速するIoTの実装は、急速に拡大しています。
IoT/AIを活用した次世代のものづくりについて、自社/お客さま事例を含めて紹介頂きます。



*当日10:30~12:00には【チュートリアルコース「基本に立ち返って考えるQMS入門」/講演:H2Lab代表 原博氏(フォーラムアドバイザー)を開催致します。

第4回例会 (ゲスト講演とグループ別討議)

2018年2月1日(木) 13:00~17:00

会場: アイビーホール(東京・表参道)

【ゲスト講演】 『バンダイの安全と品質に関する取り組み』

株式会社バンダイ プロダクトマネジメント部 品質マネジメントチームマネージャー 小宮山 真穂 氏

フォーラムの構成と運営要領

■ 基本理念

本フォーラムは、参加メンバーの共同研究と相互啓発を通じて、品質革新に向けた実践方策、経営改革を目指した質の向上、人材育成等の諸問題を取り上げ、主体的にその見解と具体策を交流・討議し合うことを目的とします。

■ メンバー

本社・事業部・工場の品質保証部門、CSR／環境安全部門等の責任者・マネジャー・ご担当者を対象とします。
また、メンバーはギブ&テイクをモットーに主体的に研究討議に参加し、成果はメンバー間で共有するものとします。

■ 開催期間 2017年10月～2018年9月（全10会合）

■ 会 場 東京都内会議室

*主に、東京・表参道「アイビーホール」で実施。
*合宿研究会・見学会等は主に地方開催となります。詳細が決まり次第ご案内致します。

■ 例会日と例会連絡

原則として「年間プログラム」の開催日程に沿って開催（13:00～17:00）

*Ex. 13:00～15:00(ゲスト講演) / 15:00～17:00(グループ別集中討議)

例会の詳細は、事前にEメールにてご案内を差し上げます。

■ 運営幹事（会社名50音順）

*メンバーの代表として本フォーラムの活動にご協力頂くとともに、グループ討議の進行・運営サポートを頂きます。

森本 潤 氏 (株)アルバック 生産本部 生産技術センター 品質保証部 部長

渡邊 淳 氏 小林製薬(株) 信頼性保証本部 品質保証監査部 部長

今川 忠憲 氏 シーシーエス(株) 品質保証部 兼 品質保証課 部長

佐藤 勇一 氏 東芝マイクロエレクトロニクス(株) 品質・技術部 参事

落合 俊明 氏 ポーラ化成工業(株) 品質保証部 係長

臼井 剛 氏 ヤマハ(株) 品質保証部 品質企画グループ主幹

■ アドバイザー

*本フォーラムの活動に対し、適宜アドバイス・サポートを頂きます。

松浦 強 氏 ジャパンフーズ(株) 監査役／オフィスM企画 代表 (元オリンパス(株) 品質環境本部長)

原 博 氏 H2 Lab. 代表 (元富士フイルム(株) 環境・品質マネジメント部技術担当部長)

一柳 高人 氏 MS2i 代表 (元コニカミノルタ(株) 環境経営・品質推進部品質推進グループ課長)

※8月末日現在。

今期(第18期)のグループ討議・3つのテーマについて

グループ	討議テーマとポイント
A	QMSの活用による『儲かる』事業への変革 当グループでは、『①事業と連携したマネジメントシステム』『②QMSの有効性を測る効果的なKPI/KGI』『③ステークホルダーとの効果的なコミュニケーション』『④内部監査の有効性向上』の4つの視点・課題意識を掲げ、これらについて、参加者の現状と課題、問題意識を抽出・共有した上で、討議したい、また深掘りしたいテーマを選択頂きグループ討議を進めてまいります。
B	グローバル生産における課題共有と解決に向けて 当グループでは、『グローバル生産』をキーワードに海外拠点と日本本社との役割、関与の仕方等、様々な各社の課題について、Give & Takeの精神のもと、課題解決のヒントとなるような新たな視点・気づきおよび、共通課題の解決策について討議を行います。 海外拠点の管理・指導、海外拠点との連携に課題意識をお持ちの方には是非ご参加頂きたいと考えています。
C	企業価値を高める品証組織・人材づくり 昨期は『価値を産み出す“攻め”の品証人づくり』として、品証の価値を産み出す為にわれわれ品証マネジメントが取り組むべき行動について、議論しました。 今期はさらに、企業価値を高める品証組織とは何か、現場（責任部署）が自分事として行動する為に品証としてどう働き掛けるか、それらを成り立たせる品証人材の育成策について、皆さんと具体的事例をもとに話し合っていきたいと思っております。

※上記以外の希望テーマでのグループ発足も検討いたします。メンバー自身でご提案頂き、新テーマを発足する事も可能です。

※参加人数によっては、テーマ変更やグループの再編、他グループへの移動をお願いする場合がございます。予めご承知おきください。

今期(第18期)の年間プログラム

開催日	内 容
第1回例会 10/26(木)	<p>基調講演 『味の素グループのグローバル品質保証体制 ～安全で高品質な商品・サービスの提供に向けた取り組み～』 味の素(株) 上席理事 品質保証部長 深見 賢治 氏</p> <p>グループディスカッション オリエンテーション メンバー懇親会</p>
第2回例会 12/8-9(金・土) (見学会・合宿研究会)	<p>見学会 トヨタ自動車東日本(株) 東富士工場の見学と現地交流 *ご同業企業様は見学頂けない場合がございます。予めご了承下さい。</p> <p>合宿研究会 テーマ別グループ討議の発足に向けての課題抽出・意見交換 *静岡県沼津市方面での宿泊研修を予定</p>
第3回例会 '18 1/18(木)	<p>ゲスト講演 『NECの考えるIoTとAIを活用した次世代ものづくり ～デジタルがものづくり価値創造を加速する～』 日本電気 株式会社 執行役員 松下 裕 氏</p> <p>グループ別集中討議</p> <p>チュートリアルコース 『基本に立ち返って考えるQMS入門』(10:30~12:00開催) 講演: H2Lab 代表 原 博 氏 (フォーラムアドバイザー)</p>
第4回例会 2/1(木)	<p>ゲスト講演 『バンダイの安全と品質に関する取り組み』 (株)バンダイ プロダクトマネジメント部 品質マネジメントチームマネージャー 小宮山 真穂 氏</p> <p>グループ別集中討議</p>
第5回例会 3/1(木)	<p>以降のプログラムについて 参加メンバーの皆様の問題意識、各グループの課題意識をもとにゲストを選定してまいります。</p> <p>通常例会 通常例会は下記の構成で進めてまいります(時間配分は目安です)。</p>
第6回例会 4/12(木)	<p>13:00> 15:00> 17:00</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>ゲスト講演またはメンバーによる品質話題提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品証を取り巻く今日的課題の把握と整理 ・先進の取り組み事例、アプローチ策 ・専門家による品質革新の新しい潮流、他 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>個別テーマに沿ったグループ集中討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業相互の事例交換 ・課題解決方策の徹底追求 ・他では聞けない知識の共有、他 </div> </div>
第7回例会 5月中下旬予定 (金・土) (見学会・合宿研究会)	<p>先進企業の第一線実務家や専門家等をお招きし、品質保証に関連する様々な視点からお話を伺います。 その後、質疑・意見交換を通じて双方向のコミュニケーションを図ります。</p> <p>今期(第18期)は3つのテーマ(案)を挙げさせていただきました。メンバーの皆様は各グループに分かれ各社の課題への取り組み等について意見交換をして頂きます。 ホンの議論の中から、新たなアイデア・次の展開へのヒントを探ります。</p>
第8回例会 6/14(木)	<p>見学会・合宿研究会 5月中下旬(金・土)開催の第7回例会では、①事業所等の見学と取り組み拝聴～意見交流、②時間の制約から解放された中で、議論・討議の深化を図って頂くとともに、メンバー間の親睦も深めて頂きます。</p>
第9回例会 7/12(木)	<p>次回の最終発表会に備え、グループ別の集中討議</p>
第10回例会 9/6(木)	<p>I. 各グループより、討議成果報告と全体共有 II. 終了懇談会～今後の研究活動推進に向けて</p>

*上記は変更の可能性もございます。予めご了承ください。

前期(17期)の活動経過

1	(基調講演)「マネジメントシステムとの上手な付き合い方」 活き活き経営システムズ(株) 代表 国府 保周 氏 (グループディスカッション/オリエンテーション/メンバー懇親会)
2	(見学会・現地講演)味の素(株) 川崎事業所の見学会と現地講演、意見交流 (合宿研究会)「メンバー交流シート」をもとにグループ討議発足に向けて意見交換
3	(ゲスト講演)「積水化学グループのCS品質を見える化するために」 積水化学工業(株) 生産力革新センターCS品質グループ長 新木 純 氏 (グループ別集中討議)
4	(ゲスト講演)「アイリスオーヤマにおける品質改善に関する取り組み」 アイリスオーヤマ(株) 品質管理部製品リスク委員会 委員 大西 二郎 氏 (グループ別集中討議)
5	(ゲスト講演)「これからの品質経営と品質保証スタッフの役割」 電気通信大学大学院 情報理工学研究科講師 西 康晴 氏 (グループ別集中討議)
6	(ゲスト講演)「企業成長に貢献するイノベーションと品質創造」 元キヤノン(株) 材料研究所長 村井 啓一 氏 (グループ別集中討議)
7	(見学会・現地講演)ヤマハ(株) 掛川工場の見学と現地講演、意見交流 (合宿研究会) グループ別の集中討議
8	(アドバイザー講演)「今こそ甦れ品質経営」 (グループ別集中討議) オフィスM企画 代表 松浦 強 氏
9	最終発表会に向け、グループ別に徹底集中討議
10	各グループより1年間の研究討議結果についての発表会。終了後は懇親会

メンバーの声(ご参加アンケート、コメントより抜粋)

- ◆いろいろな業種の品質保証に関わる方々と議論する貴重な機会であった。各社のビジネス形態と品質保証は密接に関係しており、各社独自の様々な取り組みや工夫が大変参考になった。また、似た悩みを抱えていることを改めて感じましたし、日々の活動および対応事例などの共有、多くの視点から議論・相談できたことは非常に有意義であったと感じています。
- ◆事業とQMSの関係性を理解しきれないまま参加させて頂いたが、実際に仮想企業のQMSを構築し、リスク抽出を行い、考え得られる効果を推察することで、実際に自社でどう展開すべきかの参考となったと同時に、事業に対し重要な役割を果たしていることが理解できた。
- ◆日々の業務をこなすことに追われている中で、月1回、品証とは何か、求められる人材像についてグループメンバーと議論する中で考えることができるいい機会となった。
品質感度、将来予測力、調整力などが必要な能力として重要で、それを身に着ける、身に着けさせるために、行うべきことについても考えることができた。
- ◆今回、初めて参加させていただき、各社品質保証関係の方と色々なお話をさせていただきました。作り出しているものは様々ではあるが皆、同じ様な問題や悩みを抱えていることを認識させられました。「品証の価値」という観点で自分の仕事を考える時間を持てたことは、それだけでも自分に付加価値がついたと感じております。

会議の風景



通常例会の風景/ゲスト講演時



グループ別集中討議の風景

チュートリアルコース『基本に立ち返って考えるQMS入門』のご案内

開催日程

第3回例会(1/18開催) 開始前に実施
10:30~12:00

対象

第18期主登録者と副登録者のうち、チュートリアルコースにご参加を希望される方

チュートリアルコースは本例会のプレコースとの位置付け、今期初参加のメンバーを対象に行います。内容は、当フォーラム、アドバイザーの原 博氏より、フォーラム参加の心構えや品質マネジメントの基本的な考え方について、解説を頂きます。

前期(17期)ご参加メンバー一覧(主登録者および副登録者)

*敬称略・順不同

No.	会社名	所属・役職	No.	会社名	所属・役職
1	(株) アルバック	生産本部 生産技術センター 品質保証部 部長	27	シーシーエス (株)	品質保証部 品質管理課 課長
2	(株) クラレ	経営企画部 海外事業企画グループ 主管	28	住友化学 (株)	情報電子化学品品質保証室 室長
3	小林製薬 (株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 部長	29	住友化学 (株)	エネルギー機能材料品質保証室 主席部員
4	東芝エレクトロニクス (株)	品質技術部 品質保証グループ	30	住友化学 (株)	千葉工場 品質管理部長
5	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 デバイス品質戦略・企画G チーム長	31	ダイキン工業 (株)	空調生産本部 品質管理部
6	ヤマハ (株)	品質保証部 品質企画グループ 主幹	32	ダイキン工業 (株)	空調生産本部 品質管理部 開発品質担当課長
7	オフィスM企画	代表 (ジャパンフーズ(株) 監査役)	33	(株) 東芝	営業統括部 CS推進室 主務
8	H2 Lab.	代表	34	東邦テナックス (株)	品質保証・コンプライアンスグループ グローバル品質保証チーム
9	MS2i	代表	35	パナソニック (株)	エコソリューションズ社 品質・環境部 担当部長
10	(株) アルバック	生産本部 教育センター 専門室長	36	パナソニック (株)	エコソリューションズ社 品質・環境部主幹
11	(株) アルバック	生産本部 生産技術センター 品質保証部 品質システム課	37	(株) 日立国際電気	品質保証本部 主任技師
12	宇部興産 (株)	化学カンパニー 化学環境安全・ 品質保証部品質保証グループ 主席部員	38	(株) フジクラ	理事 コーポレート生産部門 品質保証部長
13	宇部興産 (株)	化学カンパニー 化学環境安全・ 品質保証部品質保証グループ 主席部員	39	ポラ化成工業 (株)	品質保証部 係長
14	花王 (株)	品質保証センター BCスキンケア・ ヘアケア品質保証室長	40	ポラ化成工業 (株)	品質保証部 課長
15	花王 (株)	品質保証センター 企画・標準化室 副主席部員	41	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 品質基盤G チーム長
16	花王 (株)	品質保証センター ヒューマンヘルスケア 品質保証室 主任部員	42	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 品質基盤G チーム長
17	(株) クラレ	ポパールフィルム品質・技術統括部 部長	43	富士ゼロックス (株)	CS品質本部 品質保証部 デバイス品質戦略・企画G
18	(株) クラレ	イソプレンカンパニー 生産技術統括部 部長	44	富士フイルム (株)	CSR推進部環境・品質マネジメント部 技術マネージャー
19	(株) クラレ	ポパール・エバール生産・技術開発部 品質保証1課 課長	45	三菱鉛筆 (株)	品質保証部 課長
20	(株) クラレ	CSR・品質保証部 品質保証グループ主管	46	(株) 村田製作所	品質保証部 品質企画1課
21	グローリー (株)	品質保証企画部 グループマネージャー	47	(株) 村田製作所	品質保証部 品質企画2課 マネージャー
22	グローリー (株)	品質保証四部 グループマネージャー	48	(株) 村田製作所	品質保証部 品質企画2課 マネージャー
23	小林製薬 (株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 担当課長	49	ヤマハ (株)	品質保証部 楽器・音響QMS推進グループ 主事
24	小林製薬 (株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 薬粒品品質保証監査グループ課長	50	ヤマハ (株)	品質保証部 品質企画グループ 主事
25	小林製薬 (株)	信頼性保証本部 品質保証監査部 日用品品質保証監査グループ課長	51	ヤマハ発動機 (株)	コーポレート品質保証部 品質保証部長
26	シーシーエス (株)	品質保証部 兼 品質保証課 部長	52	ヤマハ発動機 (株)	コーポレート品質保証部 品質保証グループ品質活動推進担当主査

一般社団法人 企業研究会のプロフィール

異業種交流による企業間ネットワークの構築と「知の交流・移転」

1948年、当時の基幹産業でありました旧鉄鋼5社の経営幹部の自主的な勉強会からスタートしました。戦後の復興とともに個別企業の経営管理諸制度の再構築について意見交流・共同研究を重ね、その成果を個別企業に反映させてきました。このような「知の交流と移転」により企業のマネジメントのレベルアップに寄与して参りました。そして今日、異業種企業による約40の研究交流会が活発に運営され、延べ1400社の強力な人材ネットワークを基盤として経営革新を担う多彩な人材が経営の実践視点から交流し、学び合っています。

参加要領

参加料

1社 1～2名様でご参加の場合（主登録者+副登録者①）※税込み

● 正会員

237,600円（本体価格220,000円）

● 一般

259,200円（本体価格240,000円）

1社 3名様でご参加の場合（主登録者+副登録者①+副登録者②）※税込み

● 正会員

291,600円（本体価格270,000円）

● 一般

313,200円（本体価格290,000円）

*各社派遣されるご人数様により、参加料が上記2通りございます。*見学会、懇親会等を開催の場合は、別途実費を申し受けます。
*分割お支払い等も承ります。お気軽にご相談ください。*期の途中での副登録人数の変更は応じかねますので、予めご了承下さい。

申込方法

当会のホームページからお申し込みが可能です。確認のご連絡を差し上げた後、請求書等をお送り致します。書面にてお申込みの場合は、以下の申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

体験参加について

第1回例会（10/26）は、入会ご検討中の方に限り、正式申込前の体験参加が可能です。会場の雰囲気など実際にご覧頂いた上でご決定ください（人数制限がございます）。体験参加ご希望の方は、下記の申込書の体験参加の欄にチェックの上お申込みください。
※お願い 講演部分のみのご参加はお断りさせていただいております。予めご了承ください。

お申込み お問い合わせ

一般社団法人企業研究会 担当 小野原

TEL: 03-5215-3515 FAX: 03-5215-0952

e-mail: onohara@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2麹町M-SQUARE 2F

第18期 品質革新マネジメントフォーラム 申込書

事業コード: 170314

一般社団法人企業研究会 担当 小野原 宛

申込日 2017年 月 日

- 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申し込みます。
 参加検討中につき、第1回例会の体験を申し込みます。

会社名			
会社所在地（〒 ）			
主登録者 氏 名	-----	所属	役職
e-mail	-----	TEL	FAX
副登録者① 氏 名	-----	所属	役職
e-mail	-----	TEL	FAX
副登録者② 氏 名	-----	所属	役職
e-mail	-----	TEL	FAX
備考			

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本フォーラムに関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
*申込書をご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。